

長岡市(北陸・中部ブロック)

【2期 計画期間 平成26年4月～31年3月】

- ・江戸期：長岡城本丸(現在のJR長岡駅)を中心に形成された城下町。
- ・明治期：北越鉄道(後の信越本線)が開業。周辺部に商業や業務機能が集積し始め発展。二度の戦禍(北越戊辰戦争、長岡空襲)により市街地が焼失。
- ・戦後期：戦災復興土地地区画整理事業により街区を整備し、現在の中心市街地の骨格を形成。人口約28万人、市域約891km²

【1期計画の概要】

○「まちなか型公共サービス」を展開し、市役所機能の分散配置と合わせたまちなかの都市機能の更新と再集積を目的に1期計画を実施。(平成20年6月～平成26年3月)

【中心市街地の変化】

○アオーレ長岡の整備をはじめとした市役所機能のまちなか回帰、大手通中央地区における再開発事業、大手スカイデッキの整備などにより、中心市街地が市民が憩い集う「心のよりどころ」となった。また、年間を通じてさまざまな市民活動やイベントが開催される場所として、長岡広域市民の「文化・情報・交流の場」へと質的に転換し、多くの市民に愛される場所となった。

○この取り組みは、商業の衰退を主因とする中心市街地の疲弊に苦しむ地方都市の処方箋として、新たなモデルを提示した。

○今後は、「まちなか型公共サービス」の発展とさらなる市民協働が繋ぐまちなかの価値を創造し、誰もが楽しみ安心できる場所・誰もがつながり育てるまちを目指していくことが必要である。



【まちづくりのテーマ】

みんなが創るまちなかの価値

～誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち～

【1期計画の数値目標】

目標	指標	基準値	目標値	最新値
まちに来る人を増やす	歩行者・自転車通行量(平日)	80,858人(H19.10)	100,000人(H25.10)	93,405人(H25.10)
まちに住む人を増やす	居住者数	5,521人(H20.4)	6,000人(H26.3)	5,677人(H25.4)
まちで働く人を増やす	従業者数	15,934人(H18.10)	16,600人(H26.3)	14,038人(H24.2)
まちで活動する人を増やす	まちなか交流拠点(シティホール)施設利用者数	325,000人(H18年度)	780,000人(H25年度)	1,280,925人(H24年度)

【2期計画の数値目標】

目標	指標	現況値	目標値(H30)
まちに来る人を増やす	歩行者・自転車通行量(平日) ※1地点追加	95,033人(H25.10) 変更	100,000人
まちに住む人を増やす	居住者数 ※目標値を修正	5,677人(H25.4) 変更	5,900人
まちを使う人を増やす	まちなか公共・公益施設利用者人数	1,500,000人(H24) 新規	1,600,000人
まちを楽しむ時間を増やす[参考指標]	滞在時間	107分(H24年度) 新規	120分

まちに「来る人」を増やす

- 【主要事業】
- ・大手通表町西地区第一種市街地再開発事業
 - ・大手通表町東地区第一種市街地再開発事業
 - ・大手通表町東地区交流拠点検討事業
 - ・新・社会福祉センター整備事業
 - ・ナカドマ活用事業 など

まちに「住む人」を増やす

- 【主要事業】
- ・大手通表町西地区第一種市街地再開発事業
 - ・大手通表町東地区第一種市街地再開発事業
 - ・まちなか住マイル促進事業
 - など

まちを「使う人」を増やす

- 【主要事業】
- ・シティホールプラザ「アオーレ長岡」運営事業
 - ・まちなかキャンパス長岡事業
 - ・市民活動推進事業費補助金
 - など

長岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

目標1 まちに来る人を増やす

中心市街地: 約90.5ha

目標2 まちに住む人を増やす

①大手通表町西地区第一種市街地再開発事業



整備イメージ

市街地の機能更新と高度利用を図るため、福祉・医療施設、業務施設、商業施設、集合住宅等を整備する。

②大手通表町東地区第一種市街地再開発事業

市街地の機能更新と高度利用を図るため、再開発事業により、新たな交流拠点施設等を整備する。

③大手通表町東地区交流拠点検討事業

大手通表町東地区市街地再開発事業に導入する交流拠点施設等の事業化検討を行う。

④新・社会福祉センター整備事業

大手通表町西地区再開発ビルに、ボランティアセンター、地域包括センター等を整備する。

⑤ナカドマ活用事業

一年間を通じて、中心市街地の賑わいを創出するため、ナカドマにおいて各種のイベント、市民活動等を実施する。



アオーレ長岡イベントの様子

⑥多世代健康まちづくり事業

官民連携による「健康」「医療」「福祉」事業の社会実験等を行いながら、まちなかでの各種サービス・事業モデルを検討・構築する。

⑦自転車利用環境等整備事業

来街者の利便性向上を図るため、自転車ネットワーク計画を策定、自転車利用環境の改善を図る。

⑧ボトルネック踏切改良事業

踏切道における事故防止と交通円滑化を図るため、殿町踏切の車道拡幅と歩道整備を行う。

⑨まちなか駐車場整備検討事業

来街者の利便性向上を図るため、新たな駐車場整備の検討を行う。

⑩市街地循環バス運行等改善事業

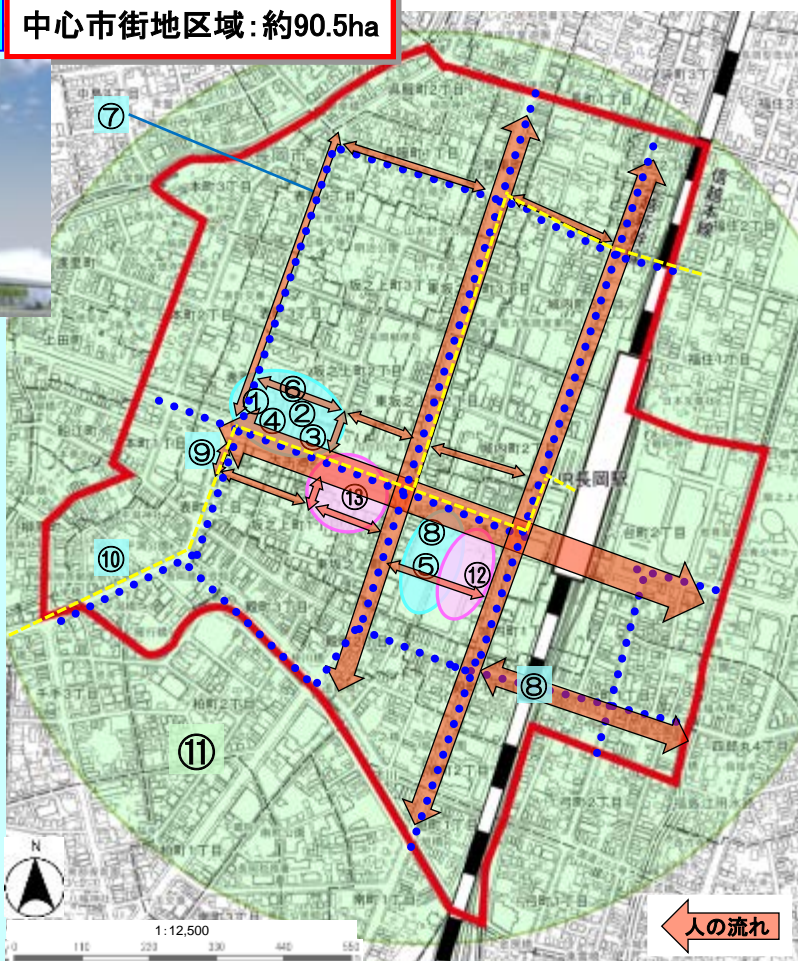
市民が利用しやすい路線バス体系を構築するため、南循環バス路線再編の社会実験を行う。



現在の市営表町駐車場

◎中心市街地新規進出者支援事業

新たに進出する商店・企業等に対し支援を行う。



人の流れ

①大手通表町西地区第一種市街地再開発事業（再掲）

②大手通表町東地区第一種市街地再開発事業（再掲）

⑪まちなか住マイル促進事業

まちなかにおける多世代居住を促進するため、空き家、空きビル等の有効活用を図る住宅施策を講じ、居住人口の増加につなげる。



イメージ図

目標3 まちを使う人を増やす

⑫シティホールプラザ「アオーレ長岡」運営事業

「アオーレ長岡」の貸館部分の管理運営、市民が交流できるイベントの企画・実施等についてのサポートを行う。

⑬まちなかキャンパス長岡事業

「学び」と「交流」を通じた人づくりを進めるため、「まちなかカフェ」、「まちなか大学」、「米百俵塾」等の講座を開催する。



まちキャン講座の風景

◎市民活動推進事業費補助金

市民力、地域力による様々な市民活動を促進するため、その活動に対し、市が補助金を交付する。